学校番号	T1208

平成31年度　　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	社会福祉基礎　（実教出版）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎時間、練習問題、参考プリントを配布して進めていくので、休んだ生徒はもらいにくること。（テストにでます）
・配布したプリントはファイルを用意してつづらせる。定期考査後に提出してチェックする。
・実習時は
　① 安全に十分配慮して積極的に取り組むこと。
　② 健康管理に注意する。
（施設などを訪れる時には、高齢者、障害者、小児との関わりもある。風邪など体調不良の際は、実習に行くことができない。）

２ 学習の到達目標

（１） 社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的、体験的に学習させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てる。
（２） 社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉に意義や役割を理解させるとともに、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	社会福祉に対する関心を高め、福祉社会が抱える課題に意欲を持って目を向けるとともに、社会福祉の向上を図る創造的、実践的な態度を身に付けている。	社会構造の変容、ライフスタイルの変化がどのように社会福祉の進展に影響し、そこから派生する諸課題の解決に向け、創意あふれる考えを導き出し表現する能力を身に付けている。	社会構造の変容及びライフスタイルの変化と社会福祉の理念について資料、情報を適切に活用し、調査研究の場で的確にまとめる技術を身に付けている。	自立生活支援や社会福祉の考え方を把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに現代社会と社会福祉の関連性、社会福祉の理念と意義・役割を理解している。
評価方法	・出席状況 ・ノート等の記述 ・授業態度 ・課題の作成や発表	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査	・実習の技能 ・定期考査 ・ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ等の記述	・定期考査 ・実習後の感想 ・課題の作成や発表

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	社会福祉の理念と意義	生活と福祉		○			b:進行する少子高齢化と人口減少の中での社会福祉が担う役割を考察する。 　家族形態の多様化や女性の職場進出の結果生じた育児、介護に対する我が国の社会的支援のあり方を考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
		社会福祉の理念		○		○	b/d:社会福祉を支える諸原理を理解し、利用者本位の支援のあり方を考察する。	・ノート等の記述 ・定期考査
		人間の尊重と福祉社会の創造		○		○	b/d:人間に内在する「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を考察する。 　福祉社会の形成には、福祉コミュニティづくりや共生社会づくりが必要であることを理解するとともに、新たな福祉社会の創造に向け、行政やボランティア活動が果たすべき役割を考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
	社会福祉の歴史と福祉社会の課題	諸外国における社会福祉	○	○		○	a/b/d:近年、経済発展が著しいアジア諸国の福祉サービスの展開を理解するとともに、開発途上国に対する我が国の支援のあり方を考察する。	・ノート等の記述 ・定期考査
		日本における社会福祉		○		○	b:少子化が社会に及ぼす影響を理解する。 b/d:国際間での障害者福祉における取り組み、国の具体的な実践について理解するとともに今後の方向性を考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
	生活を支える社会福祉・社会保障制度	社会福祉・社会保障制度の意義と役割		○		○	b/d:社会保障制度における社会福祉の位置づけを理解するとともに、時代の変化に伴い、地域社会の中で求められる社会福祉のあり方について考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
		子ども家庭福祉		○		○	b/d：子どもの権利に関して理解するとともに、我が国が目指す子ども家庭福祉のあり方を考察する。 d：児童福祉法を中心とした保育所を中心としたこれまでの子育て支援の過程とともに、多様化するニーズへの対応を目指した新しい制度の仕組みを理解する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
		障害者福祉	○	○	○		a/b/c：障害者福祉の今後のあり方について就労支援、地域移行の推進、スポーツ・文化活動といった観点から考察し体験する。 b：障害者福祉の意義について考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・実習の技能

後期	生活を支える社会福祉・社会保障制度	高齢者福祉		○		○	b/d：介護保険施設について理解するとともに、その意義を考察する。 d：介護保険制度成立までの経緯、制度の概要について理解する。	・ノート等の記述 ・定期考査
		生活支援のための公的扶助		○		○	b/d：生活保護制度の目的、基本原理、基本原則を理解するとともに、その意義を考察する。	・ノート等の記述 ・定期考査
		国民生活を支える社会保障制度		○		○	b/d：我が国の社会保険制度の概要を理解するとともに、その意義を考察する。	・ノート等の記述 ・定期考査
	人間関係とコミュニケーション	コミュニケーションの基礎	○	○	○	○	a/b/c/d:言語的、非言語的コミュニケーションや情報技術を利用したコミュニケーションについて体験を通して理解し、それらが持つ意義を考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表
		援助における人間関係の形成	○	○	○	○	a/b/c/d:必要不可欠な傾聴、受容、共感の姿勢について体験を通して理解し、それらが持つ意義を考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表
		社会福祉援助活動の概要	○	○	○		a/b/c:専門職によるチームワーク、チームケアが、社会福祉援助活動の中でどのような意義を持つか体験を通して考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表
	地域福祉の進展と多様な社会的福祉制度	地域福祉の進展と地域の将来		○		○	b/d:ボランティアの定義について理解し、地域福祉活動の中でどのような役割を担っているか考察する。 　バリアフリーを目指したまちづくりの価値について理解し、望ましい地域社会の将来像を考察する。	・ノート等の記述 ・課題の作成や発表 ・定期考査
		多様な社会的支援制度		○		○	b/d:我が国の失業率の推移と雇用形態の変化について理解するとともに、雇用支援や若者への自立支援のあり方を考察する。	・ノート等の記述 ・定期考査
		社会福祉の将来と福祉の担い手		○			b:相互扶助から社会連帯を基本とした新しい地域社会づくりのあり方を考察する。	・ノート等の記述 ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている